



しながわ

第 69 号

社会福祉法人 佳松会
令和5年10月1日発行

祝! 全勝優勝 の快挙



第54回 フレンドシップソフトボール大会



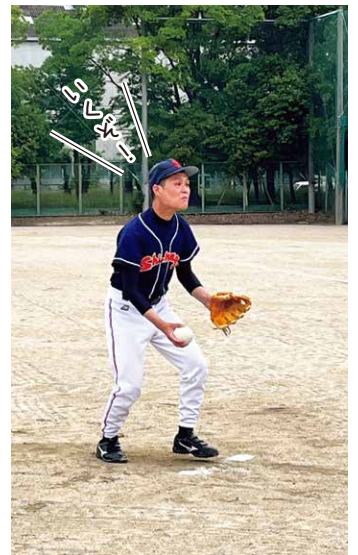
第54回フレンドシップソフトボール大会 全勝でリーグ優勝の快挙!



6月1日、梅雨にもかかわらず快晴の久宝寺緑地グラウンドにて「また皆でこうやって集まって大会が開催出来た事が嬉しいです。」と、主催者さんの挨拶で始まった第54回フレンドシップソフトボール大会に参加してきました。

総勢14チームの賑やかな大会となりました。全員おそろいのユニフォームで参加した科長の郷チームは、なんとBリーグで全勝優勝という快挙を成し遂げました。表彰式ではトロフィー、賞状、記念品が3名の代表に順次手渡され、皆さんニコニコ顔でした。科長の郷に帰り着くなり玄関で「優勝したで!」「やったよ!」と、嬉しさと誇らしさの混ざった表情で皆に報告していました。

ソフトボールを通じて皆で集まれる事、皆で何かを出来る事の素晴らしさを、改めて感じる大会となりました。来年もガンバロー。



流しそうめんパーティー!



七夕に向け、今年も玄関前の笹竹に皆さんが様々な願い事を書いた色とりどりの短冊を飾り付けました。一方、食堂のテラスでは、皆さんの無病息災を願って流しそうめんの舞台を用意しました。

流れてくるそうめんをじーっと眺めていらっしゃる方、すくい上げようとお箸を持って迎えに行かれる方など、三者三様の流しそうめんとなりました。今年もそうめんだけで終わらずトマトや桃、ミカンなども流れてきて、上手にすくう事が出来ないと首を傾げたり、上手にすくえたそうめんを職員に笑顔で見せてくれ、利用者の皆さんが楽しんで頂ける七夕になりました。皆さんの願い事が叶いますように・・・



三田ワークキャンプ

平成15年9月新築され20年間にわたってキャンプ場—自然環境の中で、最小限の装備で宿泊・活動する場—として活用された三田のログハウスと今秋お別れする事となりました。ログハウスでは、皆で食事を作ったり、お風呂に入ったり、花火をしたり、川の字になり一緒に眠りについたりと非日常を送れる特別な場所でした。

しかし、新型コロナの蔓延以来、3密を避ける、府県を超える移動の自粛などにより利用中止が続いていましたが、維持管理費のための経費は必要とし、さらに、科長の郷からログハウスまで高速道路で100キロ超あり、途中トイレ休憩が必要で、5類に移行されても休憩所での感染リスクは避けられない状態でした。一方、近年科長の郷の近隣にはバーベキュー場が新設され、代替えが可能であること、また三田のある事業者より購入の意向が示されたことなどにより、今回売却することを決定したところです。

今年度に入り、8班に分かれてお別れキャンプに行き、恒例のBBQは大盛り上がりでした。ハイテンションのままジェット風船を飛ばし拍手と共にログハウスに「ありがとう」と「さようなら」を伝えてきました。





医務のアピールポイント

利用者の皆さんの健康を守るために、各部署と共に個々の利用者の小さな変化を見逃さないよう連携し、特に毎朝の引き継ぎや様々な場面で情報を共有する事で症状の早期発見を心掛けています。また、加齢に伴う筋力低下による転倒や誤嚥を少しでも防げるよう利用者の皆さんへ勉強会も実施しています。

今後とも、利用者の皆さんが健康で安心して生活できる日常を提供できるよう支援していきたいと考えています。



生活支援員のアピールポイント

利用者の皆さんのこだわりや特性にどう対処すべきか、正解が分からず不安になることもあります。「誰かの為に悩むことができる」ことにやりがいを感じ、チームで対処方法を試行錯誤しながら向き合うことが、この仕事の魅力であると感じています。

様々な出来事が10年後の生活にどうつながるのか？そんなイメージをしながら、暮らしに関わるサポートをさせて頂き、入所されている利用者の皆さんの日々変化する喜怒哀楽を大切に、「共に寄り添い、分かち合い」これからも一緒に歩んでいきたいと思ひます。

外出支援

新型コロナ感染防止の観点から約3年間中止していた外出支援を、6月から再開しました。1グループ3~4名に分かれ、利用者の皆さんの希望に合わせて外出先を計画します。昆虫館、工場見学、カラオケ、桃狩り、銭湯などグループによって行き先は様々です。「ばくいつ行くん?」「こんど、〇〇行くねん!」と、楽しみにされている声を耳にします。

外出先では、各自が財布からおやつ代やお土産代を支払いし、電車やバス代を支払うなど公共交通機関の利用の訓練も兼ね、様々な社会生活の経験を積んでもらっています。



生活支援相談室しながについて

改めて『生活支援相談室しなが』の紹介をさせていただきます。河南町、太子町、千早赤阪村から基幹相談・一般相談・指定特定相談(計画相談)・障害者虐待防止センター相談窓口の委託を受けて、在宅の皆さんの多岐に渡る相談業務を担っています。相談支援専門員は2名。土日祝を開所し、平日に仕事や日中活動などで中々時間が合わせづらい相談者や保護者の方への訪問、面談などを受けやすい対応をとっています。

相談室しながへ相談していただく事により、「出会ってよかった」「安心した」と思ってもらえるよう日々対応しております。

編集後記

今年の夏はとても暑かったですね。早く涼しくなれと思っていましたが、いざ秋が深まると、プールや花火、すいか割りなどの夏の楽しい思い出が懐かしく感じられます。冬が来る前に、短い秋を精一杯堪能したいと思います。

広報担当：前田

かしょうかい
社会福祉法人 佳松会

http://kashokai.jp/

しなが さと
 科長の郷
障害者支援施設(生活介護)
短期入所事業・日中一時支援事業

いえ
 しながの舎
共同生活援助(グループホーム)

生活支援相談室しなが
基幹相談支援・計画相談支援
地域相談支援(地域移行・地域定着)・障害児相談支援

ホームページは
こちらから

篤志御礼<4月~8月> 敬称略・順不同

寄贈物品
翠田収、古藤捷二、岩田元夫、舌間章二、岡崎やお江、今崎英治、片山昌子、坂上暢子、今川敬貴、音瀬詩織、村上殷愛、猪倉佳代、田中伸和、富永達也、上田真代、荻野浩則、荻野有希、大羽達郎、小倉弘行、牧悦子、寺尾卓之、谷水あやの、近畿環境サービス、三栄基準寝具、奥田歯科医院、コンフィア、なにわや、テラカド、南大阪防災設備、肉の松阪、八尾隣保館、フレンドファーマ、春日薬局

寄付金
科長の郷保護者会、鉄本幸弘、上田美代子、猪倉厚、中川保彦、田中成彦、西野千恵子、中山崇、鳥羽幹雄